



高知県北川村役場
広報

またがわ



12

No. 700

Dec 2024



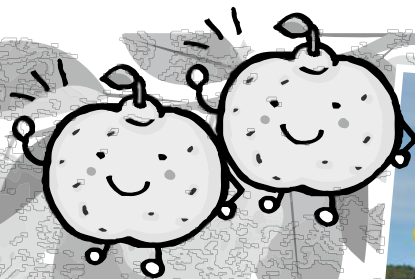
北川村の人口・世帯数

令和6年10月31日現在 ()は前月比

人 回	1,180人 (±0)
男	578人 (+4)
女	602人 (-4)
世帯数	626戸 (+2)
昨年同期の総人口	1,209人 世帯数 632戸

11月10日(日)懐太郎とゆずの郷祭り(p2-3に関連記事)

北川村 慎太郎と ゆずの郷祭り開催

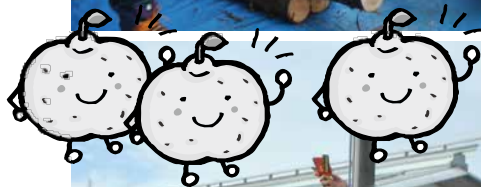


11月10日(日)に北川村総合保健福祉センターおよび中岡慎太郎館で『慎太郎とゆずの郷祭り』を開催しました。中岡慎太郎と北川村産ゆずのPRを目的としており、ゆずの収穫期に毎年行っています。

第1会場の総合保健福祉センターでは、ゆずを使ったおいしい料理や、やまなみ太鼓、中学生吹奏楽部による演奏、よさこい演舞、大人気のゆずサイダー早飲みなど、楽しいステージイベントを行いました。

第2会場の中岡慎太郎館では100食限定のシャモ鍋のふるまいや足湯体験を行い、延べ2,400人が来場し、どちらの会場も大変賑わいました。





政府広報 | 厚生労働省 | あしたの暮らしをわかりやすく

まだ、マイナ保険証をお持ちでなくても、 これまでどおりの医療を、あなたに。

今年の12月2日に、現行の健康保険証は新たに発行されなくなり、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行します。
切り替えがまだお済みでない方も申請不要で届けられる資格確認書で保険診療を受けられます。ご安心ください。
また、今お持ちの保険証は、有効期限まで最大1年間、利用できます。
有効期限が切れる場合でも、必要な方には資格確認書が交付されます。

マイナ保険証をお持ちでない方 → **申請不要で** 資格確認書をお届けします。

新たに後期高齢者になった方 → **申請不要で** 資格確認書をお届けします。 ※来年7月末まで

マイナ保険証での受診が困難な方 → **申請いただくことで** 資格確認書をお届けします。
(ご高齢の方・障害をお持ちの方など)



さらに詳しい情報は
こちらから検索↑



診療履歴に基づいたより良い医療が受けられるなど、
便利で安全なマイナ保険証への切り替えをご検討ください。

政府広報 | マイナ保険証





第71回四国卓球選手権大会 団体第3位!!

10月19日(土)～20日(日)坂出市立体育館で開催された、第71回四国卓球選手権大会において、北川JPCが団体戦および個人戦に出場し、団体戦で第3位を獲得しました。この結果が、子どもたちのこれからの競技意欲につながればと思っています。当日、ご協力いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。



高知大学出前公開講座を開催しました



10月9日(水)、10月23日(水)、10月29日(火)に村民会館研修室で、高知大学出前公開講座を開催しました。北川村教育振興基本計画の基本理念である「生きる力と学びを育む北川村の教育」を実現するために実施している講座で、今年度は「南海地震」「土佐方言」「メンタルトレーニング」をテーマに実施し、みなさん熱心に受講され、より専門的な知識や理解を深めていただくきっかけづくりができました。

高知大学出前公開講座をオンラインで視聴できます!

高知大学が行っている出前公開講座をYouTubeでどなたでも好きな時間に無料で視聴できます。普段の対面の講座(出前公開講座)に忙しくて行けない、色々な講師の話を聞いてみたいという方へおすすめです。

テーマは教育、自然、文化、歴史、健康など豊富なラインナップがあり、1本60分の講座となっております。以下のQRコードからHPをご覧ください!

高知大学出前公開講座(オンライン版)ウェブサイト

URL: <https://www.kochi-u.ac.jp/cersi/online-contents/index.html>



高知大学「たんねる舎」のご案内

今年度新たにFM高知とコラボし、いつでもどこでも、いつまでも楽しく学び続けていきたい皆さんを応援するラジオ「たんねる舎」をスタートしました。パーソナリティーは高知大学の卒業生であるFM高知の松木亮アナウンサーが担当し、高知大学の知をより多くの方へお伝えすべく、さまざまな分野を研究している高知大学の教員などをゲストに迎え、生涯を通じて学ぶ楽しさや学びのきっかけをご提供いたします!

YouTubeにてご視聴いただけますので、以下のQRコードを読み込み、ぜひご視聴ください!

YouTube高知大学たんねる舎プレイリスト

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLVbhLH5-p7wy7t8rtLeVrQwJft67HHI6q>



■問い合わせ先 高知大学研究国際部地域連携課地方創生推進室
☎088-844-8293 FAX088-844-8556

北川村PRプロジェクト

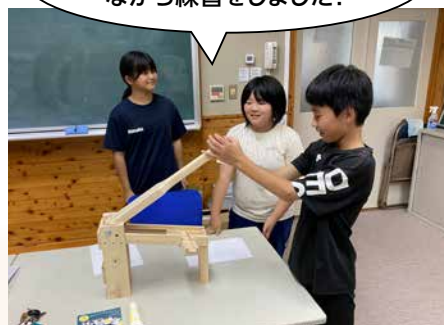
『北川村をもっと多くの人に知ってもらいたい』という思いで4月から取り組みがスタートした北川村PRプロジェクト。全国に北川村の魅力を伝えるべく、11月3日（日・祝）に東京都有楽町にある高知県のアンテナショップ「まるごと高知」でPRイベントを開催しました。プロジェクトメンバーは、10月末に「北川村ゆずPR特使」に任命され、また、今まで長い期間準備や練習をしてきたこともあり、気合十分でイベントに臨みました。

当日は朝5時に集合し、飛行機で東京へ。店舗の朝礼に参加するところから始まり、ブースの設営・準備、イベント本番、片付けまで終わらせ、村に帰ってきたのは21時半過ぎという忙しいスケジュールでしたが、①北川村クイズ ②ゆず王国商品の試飲試食 ③ゆず搾り体験 ④呼び込みの4つのブースを2人1組のペアで30分ごとにローテーションし、多くのお客さんに北川村の良さを伝えられたことで、メンバーは達成感でいっぱいの様子でした。想像以上にたくさんの方が来てくれて、お店の横には常に長蛇の列ができていました。自分たちのふるさとを誇らしく大切に思う姿を見て、引率していたこちらも、今まで頑張っ

村内では、ゆずの花・モネの庭・北川村温泉・慎太郎館（慎太郎食堂）の4カ所で、中学生が開発に携わったハンドクリームを販売しています！



放課後も集まって話し合いながら練習をしました！





小学校

1 5年生 宿泊学習

10月3日(木)・4日(金)に、5年生が宿泊学習を行いました。3日は、ジオパークセンターで地質の学習をしたり、室戸青少年自然の家でロープワークやフォトビンゴを行ったりしました。ロープワークでは、ロープのいろいろな結び方を教えてもらい、友達と協力しながら楽しく活動することができました。フォトビンゴは、写真にあるものを施設内から探し出すゲームで、子どもたちは地図を片手に「どこにある?」「ないでー」と館内を探し回り、見つけたときは「あったー!」とみんなで大喜びしていました。4日は流木クラフトや焼き板工作に取り組み、素敵な作品を仕上げることができました。仲間との絆が深まった思い出に残る2日間になりました。



2 6年生 修学旅行

10月30日(水)から3日間、6年生が広島県、岡山県、香川県に修学旅行に行ってきました。広島では、貞子さんの像の前で平和集会を行い、北川小の児童やゆずの花の方たちが平和への願いをこめて折った千羽鶴を捧げました。資料館では戦争の悲惨さや平和の大切さを学び、宮島では世界遺産の厳島神社を訪れ歴史を学ぶことができました。2日目は、倉敷市のJFEスチール工場や科学センターで見学や体験を行いました。3日目は四国水族館、ニューレオマワールドで楽しく過ごしました。この旅行を通してルールやマナーを守り、協力して集団行動を行うことを意識して取り組むことができました。



3 3年生 笑顔あふれる保育実習



10月2日(水)に3年生が、みどり保育所に訪問し、自分たちの作ったおもちゃなどで園児とふれ合いました。生徒たちは、家庭科の時間に園児たちが楽しく夢中になれる、そして、安全に遊ぶことができるおもちゃを試行錯誤して作っていました。当日は、おもちゃの遊び方などを丁寧に分かりやすく教えている姿に、園児たちも身を乗り出して一生懸命に聞こうとしていました。園児たちの遊びたい!楽しい!!の歓声と元気いっぱいの笑顔がはじけた保育実習でした。3年生も、貴重な体験となりました。ありがとうございました。



4 全校体育 バドミントン大会!



10月7日(月)に全校体育でバドミントン大会を行いました。学年を超えたチームを組み、教職員も参加して、団体戦や個人戦を行いました。授業で学んだ技術を使い、互いに声をかけ合ってプレーしたり、応援し合ったりして交流できました。チーム戦で、個人、ペアと対戦しているとき、「いいぞ!」「ナイス!!」などの応援が聞こえてきました。耳を澄ましてみると、「おいしい!!」「次はいける!」「ドンマイ、ドンマイ!」など、次に進む活力になる声かけもたくさん飛び交っていました。どんなときでも、仲間と共に前に一歩ずつ進むことができる姿を見ることができ、仲間と過ごすとても大切な時間となりました。

5 体育館での避難訓練

10月7日(月)に体育館での地震の避難訓練を行いました。シェイクアウト訓練を取り入れ「体勢を低く、頭を守り、動かない」という姿勢を取り、速やかに避難できました。まずは、どんなところでも自分の身は自分で守ることができて、いろいろな場所で判断・対応できるように訓練をしていきたいと思っています。そして、これからも訓練をしていながら周囲の状況にも対応できるように少しずつ学んでいきたいと思っています。



6 躍動! 部活動・クラブチーム



10月20日(日)香川県で行われた四国卓球選手権大会(カデット以下の部)に出場してきました。小山優斗さん、稲毛一樹さんともに2回戦に進出し全力でプレーができました。

高知ユナイテッドSCレディースに所属している松崎花さんは、JFA第28回全日本U-18四国大会において、今治レディースnextに3-2で勝ち、全国大会へ出場することとなりました。

応援ありがとうございました!今後、さらなる活躍を期待しています。



議会だより

発行責任者

議長 岩垣 實男

令和6年

第3回議会定例会

令和6年9月定例議会は、9月11日に開会し、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告、北川村教育委員会の自己点検・評価、北川村教育委員会委員の任命、一般会計補正予算ほか令和5年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定などの議案の審議が行われました。

12日には、4氏が5件の一般質問を行い、閉会しました。

行政報告（抜粋）



上村 誠 村長

■むらづくりの推進

各部署を横断し「村の永続」と「業務改善」に取り組むプロジェクトチームとして「むらづくり推進委員会」を4月に結成。以降、8月末までに10回の会合を開催した。

同委員会では前半のテーマ「村の永続」に向け、人が住みたい村・人が集まる村となるために必要な施策を協議し、11件の案が取りまとめられている。今後、内容を精査し、実施すべき事業については、事業化に向けて更に内容を詰めていく。

■脱炭素推進

北川村脱炭素事業推進プロジェクトとして、令和10年度までに4基の小水力発電施設の整備を計画しており、今年度から順次、蛇谷、宗ノ上、矢筈谷、平鍋の各施設整備に取りかかる。今議会ではこのうち蛇谷小水力発電施設の整備にかかる予算を計上した。

蛇谷地区の小水力発電施設の年間想定発電量は約1,140メガワット時を見込んでいる。この発電施設により、村内の民生部門電力の約24%を賄う計画。工期は令和8年秋頃までを計画しており、関係者・関係団体と協議を進め円滑な工事の進捗に努める。

また、北川村振興公社が整備を行う太陽

光発電設備については、北川村温泉及び小島集会所の各施設の設備整備を8月に着工、来年2月完成予定と聞いている。

北川村全体で脱炭素を促進するためには、村民皆さんの意識を醸成し、各家庭などで省エネに取り組むことが必要。そこで、省エネ設備等の購入補助金について、6月に村内各戸へチラシを配布するとともに、地域座談会において、その内容を説明するなど、周知の徹底を図っている。

補助金の交付決定状況は、8月末現在、電気自動車1件、エアコン26件、給湯器2件、LEDが7件。

■第1次産業の振興

○農業研修生

『生活できる産業の構築』の羅針盤として策定した「産業行動構築プラン」に基づき事業を推進している。

そのうち「担い手の確保」については、10人目となる農業研修生が7月1日から野川地区で研修を開始しており、これまでの合計は農業研修生4人、卒業生6人。

6月26日には農業研修生とともに地域おこし協力隊の成果発表を初めて一般公開で行い、村民27人が参加した。

また、同日に「北川村ゆず陸援隊」の視察研修も北川村ゆず王国で行われた。会員12人が参加し、商品開発や衛生管理等について工場担当者に質問するなど、積極的な活動を行っている。

○生産性の向上

ゆず母樹園の事業主である「北川ゆず振興法人」の理事会が8月7日に開催され、10

年間の事業・収支計画の作成、農業振興担当の研修体制の確認、毎月の母樹園管理状況の確認などの実施決定がなされたと聞いている。

また「画像を用いたゆず栽培技術調査」については、高知大学及び高知工科大学と村の3者間契約の調整に時間を要したため、8月8日に契約締結、13日に調査対象ほ場の関係者へ挨拶、21日より現地調査を開始している。

これらの事業は、北川村ゆずの生産振興の将来にとって非常に重要な事業であることから、担当課である産業政策課において継続的な情報収集を行い、事業の進捗を注意深く監視していく。

○ほ場整備

『優良園地の確保』については、第2期北川モデルほ場整備について、今秋から島地区の面工事より開始予定。

関連して、8月26日に北川村ゆず振興協議会が開催され、島地区と来年度工事予定の小島地区の2地区について、耕作希望者の選定を行った。島地区は3人の希望者に対して2人、小島地区は希望者1人が決定し、選定に漏れた1人については小島地区での申請を行うことで調整した。

○企業連携

『販売力の強化』の中で取り組む「企業連携」については、昨年より株式会社スウィーツと開発を進めていた北川村のゆずを使った焼き菓子「ゆず香る里のショ」ラサフレの発売日が11月15日に決定した。

『慎太郎とゆずの郷祭り』の開催が同月10日と決定したことから、祭り当日に会場に

て特別先行販売を行う予定。

商品箱には、慎太郎がゆず生産を奨励したエピソードや、モネの庭などの観光施設を紹介したチラシを同梱するので、北川村ゆずのブランディングや観光客誘致につながると期待している。

■生活基盤の整備等

村道久府付線の道路改良事業については、8月19日に請負契約を締結した。本路線は地域に密着した生活道であり、かつ、簡易水道耐震化事業の対象区域であるため、地区及び簡易水道耐震化事業と調整を行い、安全の確保及び利便性の向上を図る。

工事完成は来年3月予定で、その他の路線についても、引き続き安心安全の確保に努める。

○宅地造成

人口減少対策の一環として野友角木地区に整備する宅地造成については、6月に用地買収に係る事前協議を完了、7月16日から用地買収に着手し、8月末時点で19地権者のうち13人(68・4%)と契約の締結が完了した。引き続き、用地買収を進め農地法第5条申請及び開発申請に向けて取り組む。

■防災・地震対策

○防災訓練

避難所運営マニュアルを基にした防災訓練の開催を各地区に呼びかけており、現在1地区で防災訓練内容の話し合いを開始している。

9月中に独自の防災訓練を開催し、その後避難所運営マニュアルの改訂などにつなげ

るとともに、その他の地区に対しても引き続き防災訓練開催の働きかけを行う。

○個人住宅の耐震化

8月末現在、診断4件、設計7件、改修工事5件の申請を受け付けている。令和6年度から8年度までの3年間で耐震化促進強化期間とし、補助額の引き上げによる自己負担の軽減を図っていることから、前年度と比べ申請は増加傾向にある。また、老朽化住宅の除却は、相談3件、除却完了2件。

■日本一元気な長寿村づくり

○健康診断

特定健診の受診率は8月末の速報値で42・4%と前年度から7ポイント増加。

集団健診は南部、北部合わせて206人が受診。前年度比で、後期健診は21人、特定健診は15人の増加、若年者は2人の減少、全体で34人増加している。

増加の要因としては、個別受診勧奨に加え、健診結果を戸別訪問等で説明することにより村民の健康に対する意識が徐々に向上していると推察している。

今後は、未受診者に対し、保健福祉推進員が個別受診の勧奨に努め、さらなる受診率の向上を図る。

○保健事業と介護予防

あつたかふれあいセンター事業と連携した、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について。

これまで実施してきた介護予防に加えて、今後高知県東部地域でピークがくるといわれている脳血管疾患の予防を目的とし、健康運動指導士や北川村食生活改善推進協議

会などと、運動及び食の改善につながる事業を展開している。これまで9会場17教室を開催し、延べ1222人が参加。

毎日いつでもできる体操や、脳血管疾患の原因となる高血圧等の予防に適した食事について学ぶことで、参加者の意識向上につながっていると感じている。今後、年度末までに37回催し、より多くの方に参加いただくため積極的に広報を行う。

○糖尿病重症化予防

今年度は66人が対象となっており、現在7人が重症化予防プログラムに同意し栄養指導に取り組んでいる。また、同意に向けて個別対応中の方が43人、かかりつけの医療機関で栄養指導をお願いするために医療機関と連携中の方が16人となっている。

■観光の振興

○北川村納涼祭

8月31日に予定していた北川村納涼祭は、台風10号の影響が30・31日と予想されたので、やむを得ず中止とした。運営や出店の準備にご協力いただいた皆さま、協賛いただいた関係者の皆さま、参加を楽しみにしていただいていた皆さまにはご迷惑をおかけしたことをお詫びする。

○北川村「モネの庭」マルモッタン

今年6月から8月末までの入園者数は66,262人(対前年同期比▲10・5%)。

特に団体客数については、らんまん効果の落ち着きに加え、昨年実施された全国旅行支援キャンペーン終了による減少、8月8日に発表された南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」の影響により、6月から8月に

かけては対前年同期比▲29%と苦戦。

また台風10号の影響については、施設に被害はなかったものの、臨時休園発表後に通常営業に変更したことに加え、30・31日を臨時休園としたため、26日の週は集客数が大幅に減少した。

今後は、毎年好評をいただいている「モネのナイトキャンパス」の開催により、集客につなげたいと聞いている。

○北川村温泉

6月から8月までの宿泊と日帰り入浴を合わせた利用者数は7,329人(前年同期比▲4・0%)。

モネの庭と同様の影響により、盆休み時期のキャンセルが相次いだ。また台風の影響により107人のキャンセルが出たため29日から31日を臨時休業し、利用者数に影響が出るなど、こちらも苦戦が続いている。

温泉水の取水水量不足については、小島地区の皆さまにご迷惑をおかけしている。10月28日から31日までの4日間に温泉を休業し、井戸のポンプ取り替え及び洗浄作業を実施する予定。

■ふるさとさがわ寄附金

件数 315件(7月末現在)

寄附額 3,881千円(7月末現在)
(前年度同期 1,028件)

納税額では対前年度58・0%と、大幅減。前年度の制度改正に伴う影響に加え、ふるさと納税に係る経費削減のため、複数のポータルサイトの連動に約1カ月サイトを停止せざるを得なかったことが要因。新たに

開始したポータルサイトに加え、10月からは主要なポータルサイトを追加し、より多くの方々に寄附金を募っていく。

■教育関係

○「軽井沢風越学園」視察

7月半ばに教育長をはじめ4人が長野県の「軽井沢風越学園」を視察した。

2020年4月に開校した「軽井沢風越学園」は、3歳から15歳までが一つの学舎で学んでいる。従来の画一的な学校教育ではなく、子どもたちが興味のあることについて、自ら他者と交わり合い、刺激し合いながら探究する取り組みが自分の未来をつくるという実感を持つことを目指した学園。

学園設立の信念や、在学中の児童・生徒との交流などを通して、子どもたちを中学卒業時にどのような姿に成長させるかをイメージすること、またその実現のために、保育・小学校・中学校の15年間をかけ、焦らずじっくり育ていくことが大切であることを再度認識した。

これから先、教育ビジョンの達成に向け、教育環境の整備等、北川村の教育に生かしていく。

○マスタープラン策定

昨年度から策定に取り組んでいるマスタープランについては、これまでの検討委員会で作り上げた素案について検討を重ね、8月28日に最後の検討委員会を開催して取りまとめを進めている。

○公設公営塾

株式会社ウテナ・ウェルシアとの連携協定に基づく「ゆずハンドクリーム」のPR体

験を11月上旬に東京「まるごと高知」で実施することとなり、今回の補正予算に参加費用を計上した。今後も、企業や地域の方々と連携した探究学習を実施していく予定。

○食育活動

7月12日に「ひより保育所」の古川氏を迎えて味噌づくりを行い、小学生7人が地元の方の協力のもと30kgを仕込んだ。完成は11月頃を見込んでおり、給食や食育の授業等に活用する予定。

○中岡慎太郎館

8月末までの入館者数は2,677人（対前年度比127・9%）。

開館30周年記念特別企画展「中岡慎太郎『国家構想と人脈』が好評で、特に8月25日に開催した講演会「幕末期の藩内構想―土佐藩と水戸藩には多くの方が来場した。」

今後も「中岡迂山全国書展や「幕前祭などさまざまなイベントに加えPR活動に力を入れると聞いており、入館者数の目標達成に期待している。

■中芸広域連合関係

以下の事業について報告

- ①消防救急業務について
- ②火葬場業務について
- ③介護保険業務について

■工事発注等の状況（9月1日時点）

区分	総件数	発注件数	完了件数	発注率	完了率
現年予算	24	14	13	1	54・2%
繰越明許費	13	12	4	85・7%	28・6%
				4・2%	

：一般質問：



尾崎 一馬 議員

小島集会所の 太陽光発電設備について

■ 実施設計や工事費等この施設整備費の総額はいくらか。

答 村長

想定発電量として年22,850キロワット時、想定需要量が4,325キロワット時。事業費等については、設計が4,270千円。工事費は19,393千円、合計23,663千円。

■ 発電された電気の発電量と利用計画について、山菜グループも同じ施設の中で活動しているが、発電した電力を利用することはできないか。

答 村長

まず、太陽光発電等の設備は、災害時の電源を確保する目的がある。これらの施設は、北川村振興公社が所有し、利用者から施設設備維持管理及び将来の更新費用などにかかる経費を電気代金として徴収すること

なる。使用量が発電量を上回る施設では、電気代が安くなり、使用量が発電量を下回る施設では電気代金が高くなることが想定される。電気代が高くなることが予想される中、応分の負担をいただけるのであれば、活用できるように対応する。



和田 和恵 議員

子育て・教育環境整備事業について

■ 学校運営の実施計画であるマスタープラン作成に向けて参考にすべき事例となる、軽井沢風越学園へ4月半ばに教育長はじめ4人で行かれているが、学園はどのような仕組みになっていたか。

答 教育長

通常の学校にあるチャイムや自分の机、椅子、校則などはなく、自主的に時間割どおりの場所に移動して授業を受けており、制約のない環境の中で、自分に合った学習スタイルを身に付けて学べる仕組みになっている。ゆとりのある校舎の中央部分は大きな吹き抜けで3万5000冊の本を構えたライブラリーが広がっており、私学ならではの贅沢さと自由度を感じた。

問 どのような子育て、教育内容で、幼小中一体化学園を運営していたか。

答 教育長

特徴的な点を紹介。

①学園理念が全スタッフで共有されており、どのスタッフも同じ指導スタイルだった。

②児童生徒の自主性を引き出すために、「～してはいけません」「～はやめましょう」というような行動を抑制したり制限したりする声掛けは行っていなかった。

③児童生徒が動機を持ったり、必要性を感じたりするように問いの設定や資料の提示、声掛けなどで工夫がされていた。

④児童生徒に自己決定をさせて、その自己決定に責任を持たせ、スタッフが実現に向けた伴走をしており、この過程において、児童生徒とスタッフとの信頼関係が生まれ、その後の活動において高い効果となっていた。

⑤3歳から15歳までの12年間、遊びから生まれる興味や関心をきっかけに、自分が「～したい」という目標や情熱につなげており、自ら問いを立てて深め、切り開く学びを実践していた。

問 どのような意見交換が行われたか。

答 教育長

軽井沢風越学園の理事長からいただいた代表的な意見を紹介。

①学校づくりは社会づくりと同じで「どんな学校をつくりたいですか?」「どんな社会をつくりたいですか?」「どういふことは一体で

ある。

②目先の成果にとらわれるのではなく、義務教育学校では9年間という時間をかけて子どもたちを育てなければならぬ。

③子どもたちが満足する環境では子どもの可能性は広がらない。不足している状況をあえて作らせている。

④校舎の建設は学校が変わるきっかけになるかもしれないが、大切なのは職員の意識を変えて統一することで、また教職員の意識を変えることを諦めないことが重要である。

⑤小規模な公立校だからこそできることがある。北川村の強みを探っていかなければならない。

など、貴重な意見をいただいている。

問 マスタープラン作成にどのように生かしていくのか。

答 教育長

児童生徒の自主性や自己決定力は、将来社会を生き抜く中でも重要な資質能力であり、「北川学」や「食育」での探求の場面、また「社会の時間」や「ことばの時間」におけるキャリア形成の場面などで、自立的な成長につながるように生かしていきたいと考えている。北川村の豊富な地域資源を見落とさずに、「北川学」やその他の地域活動に取り組みながら、子どもたちが地域の魅力をより一層感じることのできる活動を実践する。また、職員の資質向上や専門的スキルアップ、組織的共通理解の徹底に取り組まなければと考えている。

問 子育て教育に必要な施設整備までに行き、今後進めていくつとしていることは何か。

答 教育長

保育所と小学校、および小学校と中学校のスムーズな連携強化を図り職員室の統合を含め、きめ細かくつなぐことへの見直しを継続する。「北川学」をとおして、子どもたちの地元への関心がより高まり、村の魅力を発揮できる発見ができるように、レベルの向上を目指す。また、ICT機器を活用したデジタルな学び、主体的な外国語教育の強化にも取り組む。

問 職員室の統合についてどのように考えているか。

答 教育長

物理的な制限や動線などの問題があり、統合には至っていない。今後は、部分的な統合や、時間的な統合も含めて進めていく。

問 本村のような小規模な公立校だからこそできること、北川村の強みについてどう考えるか。

答 教育長

小さな学校だからこそできることとして、児童生徒と教職員の意思疎通や相互理解を深める環境ができており、教職員は生徒の情報を細やかに収集して教育活動に適切に反映できる。教職員とのコミュニケーションの機会が通常規模の学校より多くなるので、信頼

関係をより深めることができる。教育活動では、児童生徒の発言する場面や参加する場面が多くなるため、教職員からの指示を待たずに、主体的に学んだり、参加する能力を身に付けたりすることができ。北川村の強みについて、小規模校の特徴的なアドバンテージを理解した教職員による教育活動が強みの一つとなる。また、教育資源となるものが北川村には豊富に存在しており、その資源に関わる地域の大人たちの存在も強みとなっている。北川村から学校をなくさないために、また北川村で子育てがしたい、教育を受けさせたいと思える子育て・教育環境を整えることは、継続して取り組むべき重要なことだと考えている。



平岡 章秀 議員

小水力発電について

問 小水力発電施設に関する予算が順次計上されることと思うが、設計単価構成について進捗状況を問う。

答 村長

設計単価の構成について、蛇谷川及び宗ノ上川の修正設計及び単価構成委託業務を令

和6年3月27日に北川村振興公社へ発注し、2月に取水堰予定地のボーリングを実施した結果を踏まえ、蛇谷川・宗ノ上川ともに取水堰の構造を見直し、導水管の護岸掘削の追加、導水管の詰まり対策として、排砂バルブを水管橋設置位置及び発電所手前のそれぞれに設置することなど、蛇谷川施設整備に係る修正設計は8月に完了している。宗ノ上川については、11月に完了予定となっており、12月議会定例会へ補正予算計上を目指し対応を図っている。

蛇谷発電所の導水管について、約1・7キロあるが、その中に砂がたまったときどう排除するのかなど、物をつくる前にいろいろ考えておかないとメンテが大変になり、それだけ余計な経費がかかると思うがどうか。

蛇谷発電所の導水管について、約1・7キロあるが、その中に砂がたまったときどう排除するのかなど、物をつくる前にいろいろ考えておかないとメンテが大変になり、それだけ余計な経費がかかると思うがどうか。

答 村長

排砂バルブについては先ほど申し上げたとおり。模型モデルを用いて、実演をさせていただいた経過があり、電源開発が設置している安田川の横取り方式チロリアン方式の確認にも行っている。今後は視察や現地確認のときなどに説明を加えさせてもらいたい。

7月26日の高知新聞に、ある自治体議会における脱炭素事業予算否決に関する記事が出ていたが、その後9月7日に執行部は議会と予算案の修正協議を行い、再提出するという記事が掲載されていた。この記事には説明不足との記載があったが、本村では執行部と議会では大きな事案において、その

ような事態はなかったように思うが、今後の村政について見解を問う。

答 村長

これまで機会があるごとに、また必要あるごとに説明を行ってきた。議会から要請をいただいた場合、真摯にお応えするなど誠意を持つて対応してきた。今後もこの考え方が変わることはない。北川村が永續できる村となるために、十分に意思疎通を図り、車の両輪のごとく諸事業を進めていきたいと考えている。

地震対策について

先般、日向灘を震源とする地震が発生し、巨大地震注意が発令された。この発令は、南海地震に臨時情報の提供が始まって以降初めての巨大地震注意だった。特に報道では、津波が取り上げられていたような印象があるが、北川村としてどのような対策を講じたか。

答 村長

この発表に伴い、同日課長級以上を招集し、災害対策本部を開催、情報共有を行うとともに、当面の対応を巨大地震注意の期間である1週間の体制として確認した。
・職員はすぐに参集できるように再度連絡体制を確認すること。
・職員は家族と連絡が取れる対策と災害時の行動を話し合っておくこと。
・期間中は不測の事態にすぐに対応する必

要があるため、総務課職員が2人体制で役場に常駐しておくこと。

・避難所については、各自自主防災組織に対し、有事の際には速やかに避難所を開設できる体制を依頼。村民会館や福祉避難所も速やかに開設できる体制を確保するために、教育委員会、住民課において準備しておく。

・住民の皆様には、国や県のアナウンスに準じて、平常時に比べ南海トラフ地震発生の可能性が高まっていること、冷静に日常生活を過ごし、地震防災への備えとして家族との連絡手段や備蓄品、服用している薬などがあればその薬と、防災グッズ、車のガソリン、家具が固定されているかなどの確認を行い、安全と思われる場所にすぐに避難できる準備をしておくようにと呼びかけを行った。

今回2人で常駐体制を築いたということだが、地震はいつ発生するか分からない。野友地区に住んでいる役場の職員や管理職員に、注意報が解除になるまで夜間等は自宅待機して、発生したら役場へ参集して事に当たるといふ方法もあると思うがどうか。

答 村長

この情報が発せられて、1週間総務課職員が2人昼夜問わず常駐したが、人員体制からいふとかなり負担がかかった現実がある。県の考え方で近傍居住というものがあり、突然対応しなければならぬときに近くだから来れる、遠くだから来れないということも、それぞれ地理的状況や道路の状況で異なってくる。これらを含めて、今後検討を進めていきたい。

小水力発電について



松崎 智香 議員

蛇谷川小水力発電所は設備能力200キロワット、年間想定発電量は1,140メガワット時ということだが、これは村内の民生部門電力の約20%を賄う規模であると報告があった。これを金額に換算すると年間幾らぐらいに相当するのか。そして、その金額に対して、蛇谷川発電所の年間の維持管理費はどのくらいかかるのか。

答 村長

1世帯当たりの年間の電力需要量は4,500キロワット時となり、蛇谷川の全発電量を住宅に全て供給すると仮定したら、約253世帯を賄う規模になる。売電単価については、四国電力の料金プラン再エネonsというものがあり、これが通常の契約より1円10銭ほど高くなっている。

この契約を行った上で1円10銭以上安くなるように、地球にやさしい電気を使った上で、現状より安くなるよう四国電力と協議中であり、売電単価についてお答えできないので、その点ご理解いただきたい。維持管理については、今後まだまだ精査していかねればならない問題もあるが、現状、北川村脱

炭素先行地域事業の計画提案書において引用し、一般的に用いられている「ハイドロバレー開発計画ガイドブック」に基づき試算を行うと、蛇谷川の施設に関しては、年間785万円程度の維持管理が必要となる。

■ 小水力発電所4カ所の中で一番維持管理費がかかりそうだと思うのは蛇谷川ではないかと思うが、発電量の価値より維持管理にお金がかかるというのは論外だと考えている。

蛇谷という場所柄を考えると、近年の異常気象による大雨等で想定外の維持費がかかるのではないかと心配をする。発電所から1・7キロ上流に取水口をつくるという予定は、水量のことや勾配のこと、大水にも山崩れにも一番被害を免れるような場所だから、そこに決めたいと思うが追加の説明を求む。

答 村長

現状ではハイドロバレー開発計画ガイドブックに基づき、維持管理費の目安として計算した結果、維持管理費が785万円ほどになるといっている。また、一昨年末に環境省へ提出した脱炭素先行地域選定に係る計画提案書策定時から電源開発をはじめ数社に共同提案者として参画していただいている。そのような経過を踏まえ、昨年度、環境省より認定を頂いた後、電源開発株式会社のご協力により、現在北川村振興公社へ出向いただいている山上さんが正式に着任することとなり、そのうえで振興公社の人員体制を順次整えて、今日に至っている。その後、ボーリング調査の必要性、そして実施、

より効率の高い提案をいただき検討した経緯がある。そして設計に係る契約締結後、鋭意設計を進め、まず蛇谷川の設計の見直しを完了させた。そうした中で、横取り方式から今のチロリアン方式に変更した。北川村が施設整備をしようとする蛇谷川においては、その規模から取水性能、出水時の対応、メンテナンスにすぐれていると考えられるチロリアン方式に変更すべきであるという提案を受け入れた。チロリアン方式では堤体の上部に6センチ幅の格子状のスクリーンを設置

することで、大きな岩とか石とかを排除し、木などの流入も防ぎ、流水の取りこぼしが少ないため、取水効率が高く、出水時に土砂の流下が多い特徴を有する河川、この蛇谷川には長期的な観点からも、このチロリアン方式が優位な構造と理解している。

・議案審議・

◇報告◇

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、健全化判断比率及び資金不足比率について報告するもの。

北川村教育委員会の自己点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会の自己点検・評価について報告するもの。

◇承認◇

事故に係る和解及び損害賠償額の決定の専決処分報告承認について

村道野川線での自転車損傷に対する和解と賠償額の決定について、地方自治法第179条第1項に基づき報告し、承認を求めるもの。

↓ 全員賛成(承認)

◇契約◇

小島橋橋梁補修工事請負契約の締結について

工事請負契約の締結について、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により議決を求めるもの。

契約の相手 有限会社 田所建設

契約金額 96,800,000円

↓ 全員賛成(原案可決)

◇人事◇

北川村監査委員の選任について

地方自治法第196条第1項の規定により同意を求めるもの。

松崎 長香 氏

↓ 全員賛成(原案同意)

北川村固定資産評価審査委員の選任について

地方税法第423条第3項の規定により同意を求めるもの。

國貞 美智 氏

↓ 全員賛成(原案同意)

北川村教育委員会委員の任命について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により同意を求めるもの。

坂本 達治 氏

↓ 全員賛成(原案同意)

◇条例◇

北川村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、必要な改正を行うもの。

↓ 全員賛成(原案可決)

北川村民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律に基づき、村民会館の入場の制限について必要な改正を行うもの。

↓ 全員賛成(原案可決)

◇補正予算◇

令和6年度北川村一般会計補正予算
(第3号)について

脱炭素事業を推進するため、小水力発電設備整備に要する経費等を計上するもの。
↓全員賛成(原案可決)

■令和6年度 補正予算

会計名	補正額	補正後の額
一般会計(第3号)	184,395 千円	3,114,595 千円



◇決算◇

令和5年度歳入歳出決算について、所管課より当該事業年度における主要な施策の成果の概要を踏まえ各事業の説明を受け審査を行った結果、全員賛成で「認定」と決定した。

令和5年度北川村一般会計歳入歳出
決算の認定について

■各会計決算の状況

会計名	歳入	歳出
一般会計	2,372,310 千円	2,245,261 千円
代替輸送特別会計	29,159 千円	29,154 千円
国民健康保険特別会計	177,719 千円	176,147 千円
簡易水道特別会計	123,847 千円	123,082 千円
後期高齢者医療特別会計	29,214 千円	28,749 千円

令和5年度北川村代替輸送特別会計
歳入歳出決算の認定について

令和5年度北川村国民健康保険特別
会計歳入歳出決算の認定について

令和5年度北川村簡易水道特別会計
歳入歳出決算の認定について

令和5年度北川村後期高齢者
医療特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて

◇その他◇

高知県後期高齢者医療広域連合
規約の一部を変更する規約について

地方自治法第291条の11第1項の規定
に基づき議決を求めるもの。
↓全員賛成(原案可決)

北川村和田瀬詰地区における
土地改良事業の計画について

土地改良法第96条の2第2項の規定に基
づき、安芸土木事務所が実施する北川道路
1工区工事で発生する残土を活用し、生産
性の高い農地の集団化を図ることを目的と
した計画について、議決を求めるもの。
↓全員賛成(原案可決)



・研修・

■安芸郡町村議会議員等研修会

◇日時 令和6年7月12日(金)

◇場所 芸西村民会館

◇内容 「南海トラフ地震に備える
黒潮町の取り組み」

講師 株式会社黒潮町缶詰製作所

取締役 友永 公生 氏



■高知県市町村議会議員研修会

◇日時 令和6年7月30日(火)

◇場所 県民文化ホール

◇内容 「市町村議会のデジタル化
できることの論点整理」

講師 東北大学大学院

准教授 河村 和徳 氏

・学習会・

■小水力発電所取水堰施設水理模型を
用いた実演について

◇日時 令和6年9月10日(火)

◇場所 役場駐車場

◇内容 蛇谷川取水堰施設で採用する
取水方式「チロリアン方式」の
取水安定性等について

講師 一般社団法人 北川村振興公社

理事 山上 浩 氏

令和6年6月議会以降の岩垣實男議長会務報告

- 6月13日(木) 第2回定例会(北川村庁舎)
 6月14日(金) 第2回定例会(北川村庁舎)
 6月17日(月) 青少年健全育成北川村民会議(北川村民会館)
 6月18日(火) 奈半利川水利対策協議会総会(北川村民会館)
 6月21日(金) 高知県町村議会議長会正副会長会・理事会(高知県
自治会館)
 6月24日(月) 中芸広域連合議会6月定例会(中芸広域連合体育館)
 6月26日(水) 安田町議会ICT視察受入(北川村庁舎)
 7月12日(金) 安芸郡町村議会議長会議員研修会(芸西村民会館)
 7月16日(火) 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟
四国地方整備局要望(高松サンポート合同庁舎)
 7月17日(水) 中岡迂山展実行委員会(北川村民会館)
 7月22日(月) 第2回安芸広域市町村圏事務組合議会定例会(安芸
広域メルトセンター)
 7月26日(金) 第2回ごめん・なはり線活性化協議会総会(安芸広
域メルトセンター)
 社会福祉協議会第2回評議委員会(北川村保健福祉
センター)
 主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同
盟会総会(北川村民会館)
 7月28日(日) 令和6年度中芸広域連合消防大会(中芸広域連合消
防本部)
 7月30日(火) 高知県市町村議会議員研修会(県民文化ホール)
 7月31日(水) 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟
8月2日(金) 本省要望(東京都/国土交通省他)
 8月5日(月) 中芸教育振興協議会総会(田野町ふれあいセンター)
 8月13日(火) 安芸土木事務所所長・次長面会(北川村庁舎)
 8月23日(金) 北川村議会全員協議会議長レク(北川村庁舎)

議会を傍聴してみませんか

議会では、年4回(3月・6月・9月・12月)の定例会と臨時会が開かれています。皆さんが明るく住みよい暮らしができるように、みなさんから出された意見を聞き、質疑等を通じて、村の予算や契約、条例などの最終的な決定をしています。村の仕事は議会と村長がお互いに意見を出し合い、協力して進めています。

本会議の開始時間は午前10時です。会議の様子を直接見たり、聞いたりできます。令和6年第3回定例会の傍聴者は延べ7人でした。次回、令和6年第4回定例会は12月です。ぜひ、傍聴に足をお運びください。

- 8月26日(月) 高知県町村議会議長会正副会長会・理事会(高知県
自治会館)
 町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会
(高知県自治会館)
 8月27日(火) 第53回高知県市町村総合事務組合議会定例会(高知
県自治会館)
 8月29日(木) 北川村議会全員協議会(北川村庁舎)
 9月2日(月) 北川村歳入歳出決算審査意見書等提出(北川村庁舎)
 9月7日(土) 北川村敬老会(北川村民会館)
 9月9日(月) 中芸広域連合議会運営委員会(中芸広域連合体育館)
 9月10日(火) 小水力発電所取水堰施設水理模型を用いた実演(北
川村庁舎駐車場)

～高知労働局より～ 最低賃金改正のお知らせ

- 高知労働局では、県内すべての労働者に適用される「高知県最低賃金」を改正し、令和6年10月9日から施行しています。
- この決定により、令和6年10月9日以降分として労働者に支払う賃金は、1時間952円以上としなければなりません。
- ◎ 最低賃金についてのお問い合わせ先
高知労働局(賃金室) TEL:088-885-6024
または、安芸労働基準監督署 TEL:0887-35-2128



モネの庭のお知らせ

冬期メンテナンス休園のお知らせ

来春に向けて、土壌改良などの庭の整備や施設の整備を行うため、12月2日(月)より冬期休園いたします。春の開園は3月1日(土)です。



土壌改良が始まっています

+++ 休園期間 +++
12月2日(月)～2月28日(金)

※12月1日(日)・7日(土)・
8日(日)は開園します。
夜間イベントも同日開催。

【予約制】冬のガーデニング教室

クリスマスや年末年始の玄関先に飾る寄せ植えを作ってみませんか？ 詳しくはHPをご覧ください。

■開催日時：12月7日(土)・8日(日)
10:00～12:00

■参加費：5,500円(税込)

■定員：各日30人

※特別ランチ 2,500円(税込)

【完全予約制・ランチはオプションです。】



【夜間イベント】モネのナイトキャンパス開催

紅葉した木々が美しい季節です。黄昏時の風景と幻想的な夜のライトアップ、光が彩る「モネの庭」の風景をお楽しみください。



■12月の開催日

12月1日(日)・7日(土)・8日(日)

■開催時間

17:00～20:30(最終入園20:00)

■入場料

一般1,500円・小中学生500円
(村民パスポートご提示で無料)



リヴィエラの小屋の
クリスマスツリー☆



メタセコイア並木のオブジェ。
トナカイもいます。



【お問い合わせ】

北川村「モネの庭」マルモッタン

〒781-6441

高知県安芸郡北川村野友甲1100番地

☎0887-32-1233 ☎0887-32-1243

<https://www.kjmonet.jp/>

休園日：12月～2月末日

★SNSで日々の庭情報発信中。
ぜひご覧ください♪



中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

～ 中芸地域の日本遺産魅力発信便り Vol.89 ～

日本遺産
第3号認定
登録番号051



【日本遺産フェスティバルin極上の会津に出展しました】

10月26日(土)～27日(日)の2日間、『日本遺産フェスティバルin極上の会津』が福島県会津若松市で開催され、日本遺産に認定されている地域が、それぞれの日本遺産のPRや関連する商品の展示・販売などを行いました。当協議会も参加し、中芸地域5町村の観光案内やゆずなどの商品のPRをしました。

2日間天候にも恵まれ、県内外からたくさんの方にブースを訪れていただきました。今後もこのようなイベントで、中芸地域の魅力を発信していきたいと思ひます。



お問い合わせ先：

中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局 (安田町役場日本遺産推進室内)

TEL：0887-30-1865 FAX：0887-30-1866

メール：yuzurintetsu@mk.pikara.ne.jp

HP：<https://yuzuroad.jp/>

Q ゆずとりんてつ 検索

HP



Facebook



Instagram



ガイド会9コース
パンフレット



北川村観光協会 NEWS ニュース

NEWS

1 RKCラジオ北川村week

11月4日(月・振休)から8日(金)にRKCラジオ「とさこちラジオ」の「ぶちぬき FRIDAY」内で北川村が特集されました。

中岡慎太郎食堂の中村さんから始まり、火曜日は小学6年生に電話出演で、高知市内のカヌレ店 LOUさんとコラボしたゆずカヌレについて話をしてもらいました。スタジオのパーソナリティーにゆずカヌレを試食してもらいながら、取り組みきっかけや高知蔦屋で行われたカヌレ販売イベント参加について説明を行いました。

この他役場の松本さんによる「慎太郎とゆずの郷まつり」、岡島精米所さんの「かんばもち」、最終日の金曜日はゆず農家の植田さんや中岡慎太郎館の学芸員豊田さんに電話出演してもらい、午後はラジオカーが村内を移動しながら中継を行い、北川村温泉の岸本さん、モネの庭の牛窓さん、町田さんに出演いただき各施設の情報などを伝えていただきました。

皆さまのご協力により、北川村のさまざまな魅力を伝えられた5日間でした。



北川村観光協会 TEL & FAX 0887-30-1972 / 080-8638-6211 (スタッフ直通: 橋本、山脇)

中岡慎太郎先生顕彰会だより

中岡慎太郎先生顕彰会 0887-38-2413

「157回忌 中岡慎太郎墓前祭」開催

11月17日(日)に中岡慎太郎墓前祭を開催しました。司会にはご当地タレントの柴田恵介さんをお迎えし、午前10時からの「慎太郎茶会」を皮切りにイベントを開始。11時には遺髪墓地で神事を執り行い、北川村長をはじめ、多くのご来賓の方々にご参加いただきました。また、「北川村を盛り上げたい!」という想いで集まった北川公営塾『知らんけど』の塾生9人を代表して、小松美渚さんが玉串奉奠を行いました。

その後、イベント会場では、塾生たちが株式会社ウテナと共同開発したハンドクリームを販売し、予定を大きく上回る売り上げを達成しました!

また、豊田学芸員による講演会はステージ上で実施し、さらに、よさこい演舞や高知県青年団協議会による中岡慎太郎にまつわる物語の演劇など、たくさんの方々のご協力により、とても賑やかな中岡慎太郎墓前祭を開催することができました。ご来場いただいた県内外のお客様から「楽しかった!ありがとう!また来年!」という嬉しいお言葉もかけていただきました。

今年もたくさんの方々に偲んでいただけ、慎太郎先生も喜んでくれていたといいな、と思いながら墓前に手を合わせました。たくさんのご来場、ありがとうございました。



地域おこし協力隊日記

【ゆず収穫シーズン限定! 『いこいの里』で産直良心市が始まりました!】

北部地区集落再生コーディネーターの吉永みことです。

道すがらに見える園地に黄色く色付いたゆずの玉が目立つようになり、収穫作業やコンテナを乗せた車が往来し、ゆずシーズンが到来した様子が確認できます。

北部地区は園地面積も広く、ゆず専業農家さんが多いので、お話を伺っていると「園地に人が来て売っている場所を聞かれたり、売ってくださいと言われる」「収穫時期に北川村でゆずを買える場所がない」「やったらよいなあとは思いつつ農家は収穫で精いっぱいではなかなかやれてない」そんなお声を受けて、シーズン限定の良心市にトライすることになりました!

シーズン中に産直のゆずが手に入る場所として認知度はありませんが、少しずつ定着していき、生産者の顔が見える良心市としてゆずを設置できるようになると、素敵な循環が生まれるのではないかと思います。北部地区へお立ち寄りの際はよかったらのぞいてみていただくと幸いです(^^)



四国南東部広域観光連携協議会 イベント情報コーナー Vol.18

12月各地のイベント情報をお知らせします。

イベント名	開催時期・期間	場 所	問い合わせ先
竹灯りの宵	12月1日(日)～ 令和7年1月13日(月)	メルキュール高知土佐リゾート &スパ庭園(高知県芸西村)	芸西村竹あかり実行委員会 芸西村役場企画振興課 0887-33-2114
こちゃんち楽笑祭 ～冬の陣～	12月14日(土)	海の駅とろむ(高知県室戸町)	一般社団法人室戸市観光協会 0887-22-0574
海陽町元気になる 「和」とれとれ市	12月15日(日)	鞆奥漁港(徳島県海陽町)	海陽町観光協会 0884-76-3050
牟岐町観光磯釣大会	12月22日(日)	牟岐大島・津島(徳島県牟岐町)	牟岐町観光協会 0884-72-0065



(一社)高知県東部観光協議会
高知県東部イベント情報



(一社)みなみ阿波観光局
徳島県南部イベント情報

※内容の詳細については、上記問い合わせ先までお問い合わせください。

短歌クラブ 会員募集

短歌だけでもOKです。
場所…北川保健センター
(ボランティアルーム)
日時…毎月第一火曜日
午前10時～三十分程度
窓口…柏木顕彰会(中村まで)
0887・38・2413

コスモスの最後の光終えた今
来年もまた咲くと信じて

田中 照喜

雨の傘軒に立てかけ友たずね
しばし無言でコスモスを見る

町田 きよ

大会の興奮熱気に包まれて
我が子の勇士母は歓喜に

中村 武志

混乱の世紀になるや人の世も
宇宙の点なり何をか言わん

内藤 明信

気が付けば夫に注意したことはなし
とつぷりあなたの人生観の中

浜渦 美恵子

幾人か友はありともよんちゃんに
替わる友なし綿雲仰ぐ

浜渦 静子

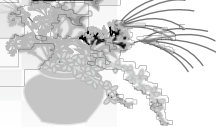
いよいよか今年も出荷の時来たる
柚子は輝き我はカゴ出す

新田 文江

ジュンレツの歌を聞くといやされる
白川さんはいつ見てもカッコイイ

山崎 昌子

短歌教室





ゼイン・セリダ

Zane
Sereda

ALT
外国語指導助手

The year is almost over! Let's end off on a good note.

最近は何かにゆずの香りが広がっていて、すごく気持ちがいいです。カナダではあまりゆずになじみがないためどんなものかわかりませんでしたが、村にきてすぐゆずが好きになりました。ゼビ、ゆずの収穫体験などにも参加したいと思っています。ゆずは学校の給食や、モネの庭のリヴィエラの小屋、いごっそラーメンの調味料の1つとして見つけることができます。冬至の日には北川村温泉でゆず風呂があるそうなので、とても楽しみにしています。

9月27日(金)にはゆずの花で「お茶会」を開催しました。お茶やコーヒーを飲みながら、参加者が作ってくださった「桜餅」を食べました。その他にもスナック菓子を食べたりして、見た目や味からカナダのスナック文化との違いに気づくことができました。当日は、みなさんと異文化交流することができて楽しかったです。

また学校では、生徒たちは語学学習に熱心に取り組んでいて、日々英語力を高めています。毎週木曜日の午後6時30分から、村民会館で「大人のための英会話教室」を開催しています。初心者向けコースと上級者向けコースと分かれて学習していますので、みなさん一緒に学びましょう!

最後まで読んでくれてありがとうございます。メリークリスマス!



.....



コビ・セナ

Coby
Sena

CIR
国際交流員

深冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今日は、10月28日(月)に北川村民会館にて開催したハロウィーンパーティーについてお話しします。当日のメインイベントは、「ジャック・オ・ランタン」作りでした。ジャック・オ・ランタンは、カボチャに穴を開けて中身を取り出すことによって作るランタンで、その後、顔の側面を彫り、カボチャの中にろうそくを置くと、顔が暗闇に照らされます。手づくりのジャック・オ・ランタンのなかで、誰が最も怖く、かわいく、面白く、そしてハロウィーン風に作ることができるかコンテストをしました。受賞されたみなさん、おめでとうございます。みんな個性あふれる作品ばかりですばらしかったです。また、ジャック・オ・ランタンの起源の物語を語ったので、みんなが新しいことを学ぶことができたと思います。

他にも、子どもたちが参加できるゲームをいくつか行いました。私のお気に入り、[ドーナツ紐付け]ゲームでした。このゲームでは、手を使わず紐からぶら下がっているドーナツを食べることで、ドーナツの数が少なく、参加できない人がいたので来年はドーナツの数を増やします!また、ゼインさんが準備した「ミステリーボックス」では、中身を見ずに「内臓」と「大きなクモ」の感触を楽しんでももらいました。みなさん、心配しないでください!箱の中のは、現物をイメージして中身を用意したものなので、実際は怖いものではありませんでした。

当日は多くの方に参加していただけてとてもうれしかったです。イベントに参加してくれた方や、イベントの開催に向けて協力いただいた教育委員会のメンバーにも非常に感謝しています。来年も楽しいイベントを開催したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。





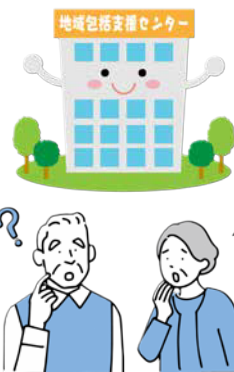
アルツハイマー型認知症は、認知症の中で最も症例数が多く、認知症患者の60%以上を占めています。この病気の特徴は記憶力や判断力、言語能力などが徐々に衰えていく進行性のものであり、アミロイドβ（ベータ）と呼ばれるタンパク質が蓄積し、神経細胞がダメージを受けることで脳の機能が低下するといわれています。

初期段階の徴候としては、軽度の記憶力低下や物忘れが上げられます。例えば、最近の出来事を忘れたり会話の内容を覚えていない、食べたことを忘れるといったことが典型的です。病気が進行するにつれて時間や場所の感覚が混乱する、身近な人や物の認識ができなくなることが増えて、日常生活に大きな影響を及ぼすようになります。さらに進行すると食事や着替えなど日常の基本的な動作も自力で行えなくなり、介護の必要性が高まります。言語能力も低下し、コミュニケーションが難しくなることもあります。アルツハイマー型認知症の終末期には、体のほとんどの機能を失い、寝たきりの状態になります。

最近では症状の進行を遅らせる薬が開発されましたが、完治するための薬は存在していません。薬の他にも症状の進行を遅らせるための方法として散歩や体操、ストレッチなどが推奨されており、これらの運動は気分の向上や全体的な健康にもつながります。また、認知機能を維持するために、パズルや計算問題等の活動を通して脳の働きを活性化することも効果的だと思います。加えて介護保険などの適切なサポートを受けることで、生活の質を維持し、家族や介護者の負担を軽減することも重要であると思います。

どの病気でもそうですが早期診断が重要で、早い段階で治療やケアを始めることで患者様が自立した生活をできるだけ長く続けられるようになると思いますので、抱え込まず認知症外来や中芸広域連合地域包括支援センターへの相談をおすすめします。

田野病院 リハビリテーション部 武田 誠実



南国年金事務所のご案内

1000 年・金・だ・よ・り

受付時間 ○月曜日～金曜日 8:30～17:15
○月曜日または週明けの開所日 8:30～19:00
○第2土曜日(12月14日) 9:30～16:00

休業日 土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

ご連絡・予約先 ☎088-864-1111(ナビダイヤル)
※長時間お待たせすることがないように、予約をおすすめします。

◆出張年金相談日程

相談日	時間	場所	予約先
12月 5日(木)	10:00～12:00 13:00～15:00	安芸市防災センター	南国年金事務所へ申し込み
12月26日(木)	11:00～12:00 13:00～15:00	室戸市役所	室戸市役所 (☎22-5131) または南国年金事務所



～新成人の皆さんへ～ 20歳になったら国民年金

国民年金は年を取ったとき、病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんなを支えようという考えでつくられた仕組みです。20歳になると日本年金機構から国民年金加入のお知らせが届きます。

国民年金のポイント

◆将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの方が加入し、保険料を納める制度です。国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

◆老後のためだけのものではありません!

年を取ったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族(「子のある配偶者」や「子」)が受け取れます。

保険料を未納のまま放置すると、年金を受け取ることができない場合があります。保険料には学生納付特例制度、納付猶予制度の他、免除制度がありますので、詳しくは年金事務所や住民課までお問い合わせください。

ご冥福をお祈りします

氏名	年齢	地区	死亡月日
井津美代恵	80	加茂	10月 2日
島岡恵美子	91	島	10月 2日
大寺 武久	90	加茂	10月16日

保健だより

歯が痛む、口の臭いが気になるといったお口のトラブルでお困りの方はいらっしゃいませんか？

そんな状態だと食事がおいしく感じにくかったり、人と話すのも気になったりと日々の生活に影響することもあります。また、歯周病をはじめとしたお口の健康状態の悪化が、全身にさまざまな悪影響を及ぼすことが分かっています。生活を楽しむためにも、適切な習慣や正しいケアに取り組んで、お口の健康を維持しましょう。

【年齢ごとの理想の歯の本数】 ※全国健康保険協会より



40歳で自分の歯を
すべて保つ



60歳で自分の歯を
24本以上保つ



80歳になっても
自分の歯を20本以上保つ

◎歯周病をご存じですか？

歯周病は、歯が抜けてしまう感染症で、全身の健康にも影響を与える怖い病気です。

30代以上の約3人に2人が歯周病になっているといわれています。

【歯周病とは】

歯にこびりついた歯垢（プラーク）と呼ばれるネバネバした黄白色の粘着物が繁殖し、歯を支える歯茎に炎症を起こす細菌感染症で、重症化すると歯を失うことになります。

歯周病の進行過程と症状



【歯を健康に保つコツ】

- 歯に付着したプラークを歯ブラシやデンタルフロスなどを使ってこすり落とす
- 栄養バランスのとれた規則正しい食事を心がける
- よくかんで食べる
- 歯科で定期的に歯石を除去する
- 虫歯を放置せずに治療する



子どもの予防接種費用の対象を拡充します

北川村では、子どもたちの健康の維持および子育て世帯の負担軽減のため、季節性インフルエンザ、おたふくかぜの予防接種費用を助成しています。

今年度から、2歳～19歳未満を対象に、季節性インフルエンザの鼻腔内噴霧による接種が承認されたことにより、村の助成対象を追加します。

■対象者：季節性インフルエンザ

6カ月～中学生（年2回まで）

おたふくかぜ

概ね1歳～中学生（通算2回まで）

■補助内容：季節性インフルエンザ

年1回皮下接種の場合 上限3,500円

年2回皮下接種の場合 上限6,000円

鼻腔内噴霧による接種の場合 上限6,000円

おたふくかぜ

対象期間内通算2回接種

1回につき上限6,000円

■助成対象となる接種期間

季節性インフルエンザ

毎年度10月1日～12月31日まで

※おたふくかぜは期間の定めはありません。

■請求期間および請求方法

令和7年3月末までに、領収書や接種済証明書等を住民課へ持参してください。

■お問い合わせ先

北川村役場 住民課 (32-1214)

みどり保育所

PHOTO通信



11月13日(水) みそ作り

行事予定表

事業	実施年月日	実施時間	実施場所・備考
乳児健診	12月4日(水)	(受付)12:45～13:15	奈半利町防災センター
1歳6カ月・3歳児健診	12月18日(水)	(受付)12:45～13:15	奈半利町防災センター
野友介護予防教室	12月5日(木)・12月(木)・19日(木)・26日(木)	9:30～	北川村保健センター
加茂介護予防教室	12月6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金)	10:00～	北川村農業センター
久府付介護予防教室	12月4日(水)・11日(水)・18日(水)・25日(水)	10:00～	北川村農村婦人の家
柏木・崎山介護予防教室	12月5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木)	13:30～	柏木交流センター
野川さくら会	12月4日(水)・11日(水)・18日(水)・25日(水)	9:15～	野川交流センター
長山せせらぎ会	12月3日(火)・10日(火)・17日(火)・24日(火)	9:30～	長山交流センター
宗ノ上介護予防教室	12月5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木)	13:30～	宗ノ上集会所
中部けんこうクラブ	12月6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金)	9:30～	小島集会所
島バラ会	12月19日(木)	10:30～	北部集会所
ぺちやくちゃ会	12月4日(水)	10:00～	北川村保健センター
親子ふれあい広場	毎週火曜日	9:00～	ゆずの花
ゆずみどり	毎週火曜日	9:00～	ゆずの花